

❖コクヨCSR憲章	❖会社概要	❖コクヨが主に 取り組む領域	❖コクヨの取り組みと、 その歩み	❖未来と社会のための 取り組み	❖コクヨのさまざまな 取り組み	❖2020年 コクヨの 取り組みのご紹介	❖トップメッセージ
❖コクヨのCSR	❖コクヨの マテリアリティ	❖環境	❖社会	❖ガバナンス	❖社外からの評価	❖対照表	

未来と社会のための取り組み

Date

これからをつくるアイデアへの支援、これからの環境のための支援も行っています。



コクヨデザインアワード

2002年にスタートした、使う人の視点で優れた商品デザインを広くユーザーから集めて、商品化をめざすコンペティションです。「カドケシ」などのヒット商品も誕生。近年はプロダクトデザインの国際アワードとして成長しています。



ReEDEN プロジェクト

コクヨ工業滋賀は、琵琶湖の水質や生物多様性の維持という重要な役割を担うヨシの保全に取り組んでいます。その生産技術を生かし、ヨシ原料のコピー用紙やノートなどを、ReEDEN（リエデン）シリーズとして販売しています。



働き方研究

1986年オフィス研究所を開設。関連商品や空間の研究、オフィスコンサルティング活動を開始。研究情報誌「ECIFFO」、ワークスタイル戦略情報メディア「WORKSIGHT」を通じ、情報発信をしています。



Camel Art Foundation

CAFの主な目的はインドの芸術シーンの底上げを図ること。芸術活動のプラットフォームの構築や展示会の開催などにより、若手芸術家が作品を発表するチャンスやプロの芸術家が名声を高める機会を提供しています。



結の森

「結の森」プロジェクトは2006年、高知県の四万十町森林組合とともにスタートし、間伐及び間伐材の有効活用を中心とした森林保全活動に取り組んでいます。



K ハート&ハートランド

コクヨの障害者雇用は1940年大阪市立聾唖学校（現大阪府立中央聴覚支援学校）の生徒採用に始まり、現在、印刷及び業務受託として特例子会社コクヨKハートと農業法人特例子会社ハートランドとでさまざまな障害を持つ社員の特性に応じ業務を行っています。